

あの日、あのときに
タイムスリップ!!

むかし あらかわ 昔の荒川区を
見てもみよう

アニバーサリー 90th
~Anniversary

荒川区は昭和7年(1932)に誕生し、今年で区制制定90周年を迎えました。昭和・平成・令和という時代を通して、荒川区の様子は大きく変わりました。

そこで今回、昔の学校生活の様子を写真で紹介し、普段みんなが過ごしている学校生活との違いはあるかな？

昭和27年

給食

昭和30年

プール

昭和31年

入学児童健診

昭和31年

入学式(小学校)

昭和31年

卒業式(中学校)

昭和41年

運動会(小学校)

昭和45年

書き初め展

昭和47年

交通安全教室

昭和55年

運動会(中学校)

昭和56年

もちつき大会

このほかの昔の写真は、荒川区ホームページ内の「あらかわ思い出写真館」で紹介しているよ。みんなも見よう！

Topics

二峡小の手塚さんが、
わんぱく相撲女子東京都大会で
優勝しました

6月26日、第二峡田小学校4年の手塚咲葵さんが、わんぱく相撲女子東京都大会で優勝し、全国大会に東京代表として出場することを高梨教育長に報告しました。

手塚さんは、「全国大会でも力を発揮できるようベストを尽くします」と話し、高梨教育長は「東京都代表として、自信を持って頑張ってきてください」と応援のメッセージを伝えました。

なお、全国大会は、8月21日に沖縄県浦添市で開催され、手塚さんは、ベスト16に入賞しました。

高梨教育長に報告する手塚さん

あらかわ
今昔ものがたり
〔あらかわの歴史と伝説〕

【問合せ】 荒川ふるさと文化館
☎(3807)9234

野執筆
野尻さん

その139 六大学野球、尾久で開催!?

～幻の球場・尾久グラウンド～

野球が日本にやってきた！ 今年は日本に野球が伝わって150年の記念の年なんだって。

150年前は、明治5年(1872)。このころは、より進んだ海外の知識を子ども達に学ばせようと、欧米から先生を呼んでいたんだ。そのうちの一人、ホーレス・ウィルソン先生が第一番中学(後の第一高等学校)の生徒に教えたことから日本の野球の歴史は始まったんだって。あの正岡子規さんも野球が大好きで、「久方のアメリカ人のはじめにしベースボールは見れど飽かぬかも」といった歌を残しているよ。

主将が名付けた「野球」 最初は「ベースボール」と呼んでいたけれど、明治27年(1894)に第一高等学校(後の東京帝国大学)の野球部主将が「野球」と訳したんだ。当時、一高はすごく強かったけど、早稲田や慶應も力をつけ、野球は日本を代表するスポーツになっていったんだよ。

尾久に球場が誕生！ 大正11年(1922)5月、尾久にあらかわ遊園が完成した。そして12月、あらかわ遊園の南に本格的な球場が誕生したんだ。

東京野球倶楽部が、東京ドームの面積と同じくらいの土地を借り、寄付を募って理想的な球場を造ったんだよ。(『新興の尾久町』)

幻の球場・尾久グラウンド 東京野球倶楽部は煉瓦工場やあらかわ遊園を創った広岡勘兵衛さんたちが作った団体で、建設した尾久グラウンドには立派なスタンドもあったんだ。このころは東京帝国大学(今の東京大学)野球部がここで練習をしていたんだよ。また、大正14年(1925)には東京六大学の公式戦が行われ、米国女子野球チームも試合をしたんだってさ。当時の東京でも本格的な球場だったんだね。残念ながら、日本の経済の悪化と同時に経営難になり、昭和2年(1927)に閉鎖されてしまった。でもね、たった数年だけど野球の歴史に残るグラウンドだったんだよ。

今年の夏、日本野球150年を記念して、南千住にあった東京スタジアムと尾久グラウンドが、野球にまつわる聖地・名所150選に認定された。今度、グラウンドがあったという西尾久七丁目児童遊園あたりを探検してみてね。

東京府北豊島郡尾久町全図(満光寺蔵)